

すまい・まちづくりシンポジウム2015 人口減少社会のすまい・まちづくりを考える

主催 一般社団法人 プレハブ建築協会
協賛 定期借地権推進協議会・日本型HOA推進協議会
後援 独立行政法人都市再生機構（予定）・一般財団法人 住宅生産振興財団
一般財団法人 都市農地活用支援センター・一般社団法人 全日本土地地区画整理士会

趣旨

人口急減・超高齢化が進行する中で、コンパクトシティの推進が掲げられていますが、現実は大都市集中（殊に東京圏）が進み、多くの地方では空き家問題に象徴されるような不動産環境の厳しさを感じます。真に地方の創生・人口減少の克服に向かうには、施設やシステムのみで達成できるものではなく、夫々の地域特性を生かした多様な世代・多様な世帯が持続的に暮らせるウェルネスコミュニティの実現が望まれるのではないのでしょうか。

今般、「定期借地権推進協議会」「日本型HOA推進協議会」の協賛で、すまい・まちづくりに関わっている研究者・行政関係者・実務者の方々と共に、実際の取組事例等を通して“住み継がれ、安心して暮らせる、活気あるまちづくり”を考えていくことを目的として、「すまい・まちづくりシンポジウム2015」を開催いたします。

開催日時

2015年6月19日（金）
13:10~16:30
（12:30より受付開始）

会場

すまい・るホール（右図参照）
東京都文京区後楽 1-4-10
住宅金融支援機構本店 1階

参加費

1,000円（テキスト代）

お申し込み

どなたでもご参加頂けます。

裏面の参加申込書にご記入の上、FAXにて送信下さい。なお、定員（250名）を超えた場合にはお断りさせて頂く場合がございますので、ご了承下さい。

お問い合わせ

一般社団法人プレハブ建築協会 業務第二部 シンポジウム担当
TEL 03-5280-3121 FAX 03-5280-3127



スケジュール

13:10~13:15 開会挨拶

13:15~14:15 第一部 基調講演

「地方創生と高齢者住宅政策」

人口減少と少子高齢化の進展を背景に、地方創生の取り組みが本格化しようとしている。東京一極集中のどの点が問題なのか地方の都市の在り方はどうあるべきなのかについて、解説する。

日本大学経済学部 教授 中川 雅之氏

14:15~14:30 〔休憩〕

14:30~16:20 第二部 事例紹介・パネルディスカッション

進行： 横浜市立大学 国際総合科学部 教授 齊藤 広子氏

事例紹介

■ 「豊島区新庁舎整備」

豊島区 施設管理部 庁舎建築担当課長 近藤 正仁氏

■ 「紫波町におけるPPPの取り組み～オガールプロジェクト」

岩手県紫波町 経営支援部企画課 公民連携室長 鎌田 千市氏

■ 「定期借地活用事例報告」

定期借地権推進協議会 委員長 大木 祐吾氏

16:30 終了

一般社団法人プレハブ建築協会 業務第二部シンポジウム担当 行

FAX 03-5280-3127

すまい・まちづくりシンポジウム2015 参加申込書

会社名 団体名	TEL	
氏 名		所属・役職

6月10日(水) 〆切

*尚、申込受付済を確認するご連絡・書面等は省略させていただきます。